

# 自主自律

Ad : 〒844-0011 佐賀県西松浦郡有田町岩谷川内3-6-1

Tel : 0955-43-2291 FAX : 0955-43-4346

E-mail : arita-j@education.saga.jp

HP : <https://www.education.saga.jp/hp/arita-j/>

## 学校教育目標

郷土を愛し、未来を切り拓く

健やかな体と豊かな人間性・創造性を持つ生徒の育成

## ～ 令和4年度第2学期が始まりました ～

長いようであつという間の夏休みが終わり、8月29日から令和4年度の2学期がスタートしました。残念ながら、今回もコロナ対策でリモートでの始業式になりました。新学期に当たり、校長から次のような話をしました。

### 1. 1年生の皆さんへ

1学期は、落ち着いて学習に取り組んでくれました。中学校の生活にも慣れましたね。2学期は、学問の秋、文化の秋、読書の秋、スポーツの秋とも言われます。この秋のいい季節を生かして、勉強にスポーツに、自分のレベルアップ図ってください。

### 2. 2年生の皆さんへ

1学期は、とても授業中に活気があって、楽しく学習ができている人が多く見られました。また、発表する人も多く、2学期が楽しみです。2学期は、「学校の顔」への準備が必要です。部活動や生徒会などで、中心となっていきます。3年生が行事や部活動で見せてくれたいいところを見習いつつ、そこにプラスアルファ(+α)で2年生独自のカラーを加えてください。

### 3. 3年生の皆さんへ

1学期は、落ち着いた態度で授業に取り組み、部活動でも大活躍をしてくれました。他の学校の先生方からも、何度もお褒めの言葉をもらいました。今の落ち着いた有田中学校があるのは、3年生の頑張りのおかげです。本当に感謝しています。2学期は、行事なども大切ですが、3年生には自分をじっくり見つめ、本当に自分に合った進路を見つけ、それに向かってひたむきに、誠実に、全力で取り組んで欲しいと願っています。3年生には、最後までその素晴らしい背中を後輩に見せて欲しいと願っています。

## ～ 県中体連、九州大会、全国大会で頑張りました～

7月23日(土)・24日(日)に県内の会場に分かれて、**県中体連の夏季総合体育大会**が開催されました。2日間ともに暑い中、各競技で熱戦が繰り広げられました。その結果、水泳の岩谷瑞稀さんが50mと100mの自由形で2位、陸上の松村奈那さんが3年100mで優勝、2年谷口夢さんと1年徳久莉央さんが100mで2位、女子4×100mリレーで優勝(松村・望月・谷口・徳久)でした。また、柔道では男子団体が2位、女子団体が2位でした。男子個人戦では、男子73kg級で山本颯太郎君が優勝、

81kg級で赤石翼くんが優勝、90kg超級で梶山拓海くんが優勝しました。女子個人戦では、40kg級で城戸柚美さんが優勝、48kg級で江越未侑さんが優勝、57kg級で中尾嶺那さんが2位、70kg超級で平山友彩さんが2位、63kg級の筒井志穂さんが3位でした。



8月上旬からの九州大会では、陸上の松村奈那さんが100mで3位、柔道の73kg級の山本颯太郎さんと90kg超級の梶山拓海くんが2位、女子の江越未侑さんが3位という素晴らしい結果でした。

最後に8月中旬から下旬にかけての全国大会にも、陸上部と柔道部が出場し、柔道90kg超級の梶山拓海くんが見事全国5位に入賞しました。県大会、九州大会、全国大会へ出場した皆さん、選手の皆さんが1番頑張りましたが、顧問の先生やコーチ、支えてくれた保護者の皆さんへの感謝の気持ちを忘れないでください。また、7月25日(月)には、佐賀県吹奏楽大会が佐賀市文化会館で開催されました。少ない人数でしたがよく頑張り、銀賞に輝きました。

## 有田っ子キラリ No.2 ~8月6日有田町「平和祈念式典」から~

去る8月6日(土)に町で初めての「平和祈念式典」が開催されました。その中で、本校生徒会副会長の原崎 幸さんが中学生の代表として、「平和への誓い」を堂々とした態度で発表してくれましたので、全文を紹介します。

### ~ 「平和への誓い」 ~

人は新しいものを作りだし、互いに助け合い、共に笑い合える生き物です。人の力によって、科学技術や文明を発展させてきました。しかし、時には人は大きく足を踏み外すことがあります。今から七十七年前の八月六日午前八時十五分、原子爆弾により広島は町は一瞬にして炎に包まれました。そして、八月九日午前十一時二分、佐賀県の隣、長崎県にまでも原子爆弾は投下されました。泣き止まない子どもたちの声。「助けて」と何度も叫ぶ人々。声を出す力も残っていない親子。数え切れないほどの人々が命を落としました。



あれから七十七年の時がたち、今でも戦争の悲惨さが伝わる物が残っています。子どもたちが遊んでいたであろう焼け焦げた遊び道具。日本のために命をかけて戦った人々が乗っていた戦闘機。そして、今でも苦しみ続けている人々の声。私は、二度とこのようなことがあってはならないと強く思いました。平和であるために必要なこと。それは、互いに認め合い、助け合うこと。そして、全ての人々が平等な社会を目指すことだと思います。

では、平和を守っていくのは誰なのか。それは、今を生きる私たち一人ひとりです。私たちは、戦争で犠牲になった人々の声や戦争の愚かさを伝え続けていく責任があります。次の世代へ、世界の人々へ一人でも多くの人に、平和への思いを届けていきます。日本、そして世界の人々が、笑顔、幸せ、希望であふれる世界になるように努力し続けていくことをここに誓います。

### ※中体連こぼれ話のつづき(前回の6号に掲載)

校長の私が勤務した10年前の唐津市の湊中での部活動の話を第6号に掲載したところ、当時の湊中生で現在慶応義塾大学4年生の女性から手紙が来ました。内容は、たまたま、有田中学校のホームページを見ていたら、かつてお世話になった先生が校長として自分の母校である湊中のことを書いてくれたことに感謝し、記事のおかげで湊中を誇りに思ったことや中学校時代の授業中や部活動の思い出が次々に浮かび、一筆取ったとのことでした。保護者の皆さん、自分の母校の学校だよりを見てみたらいかがですか?忘れかけていた自分や遠きにおいて思うふるさとの良さを探せるかもしれません。生徒の皆さんも、数年後に有田中学校の学校便りを是非見てみてくださいね。

※ 有田中学校ホームページ(右のQRコード)に「学校だより」をアップしています。写真やイラストなどカラーで載っていますので、是非ともご覧ください。

